

研究タイトル：

## 英文学，英詩，十七世紀のイギリス



氏名：菅野 智城 / KANNO Tomoshiro E-mail: tomoshi@tsuruoka-nct.ac.jp

職名：講師 学位：修士(文学)

所属学会・協会：日本ミルトン協会，英米文化学会，日本英語文化学会

キーワード：イギリス文学，ジョン・ミルトン，サミュエル・ハートリブ，17世紀の英国，比較文学

 技術相談  
 提供可能技術：専門用語(自然科学分野)の翻訳

### 研究内容： ジョンミルトンを中心とする英文学研究

#### ・英国の詩人ジョン・ミルトンを中心とする英詩研究

ミルトンは、英文学において重要な位置を占める詩人である。彼の代表作 *Paradise Lost* では、神と悪魔、善と悪の対立を超えたヒューマニズムが、アダムとイヴの姿を通して描き出されている。またミルトンは、政治や宗教、教育などの分野で多くのパンフレットも出版しており、当時の英国が抱える諸問題を読み解くうえで、それらのパンフレットは多くの示唆に富んでいる。

#### ・サミュエル・ハートリブとその周辺の研究

17世紀の英国は政治的、宗教的対立の時代であると同時に、科学思想や教育制度が発達した時代でもあった。ハートリブは、幅広い分野に精通し、数多くの著作物の出版に関わった人物である。英国における当時の状況は、ハートリブと、その周辺の人物の著作物から読み解くことが可能である。今後は、彼の遺した第一資料の検証を進めていく。

#### ・日英比較文学の研究

17世紀以降の英文学作品の影響が、明治の開国以来、日本文学にどのような形で影響を与えているかを考察している。例えば夏目漱石は、18世紀英文学の研究を通して、文化形成が内包的であるか否かに焦点を当て文学を論じている。西洋と日本の近代化(=開化)の違いを、内発的(積極的)・外発的(消極的)活動の観点から論じ、人間の在り方について模索した。作品の類似性、作家の受容の問題とともに、英文学と日本文学における、ナショナル・アイデンティティーの問題についても考察を進めている。

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	